



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月28日

上場会社名 株式会社九電工 上場取引所 東・福
 コード番号 1959 URL <http://www.kyudenko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 松次
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務部長 (氏名) 高田 勝則 (TEL) 092-523-1239
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	65,649	2.5	4,527	△7.8	5,020	△2.6	3,346	△9.1
29年3月期第1四半期	64,040	4.9	4,908	10.3	5,151	△0.1	3,682	6.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 4,160百万円(63.6%) 29年3月期第1四半期 2,542百万円(△36.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	47.48	47.04
29年3月期第1四半期	56.09	51.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	280,002	144,660	51.1
29年3月期	300,478	141,503	46.6

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 143,118百万円 29年3月期 139,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	150,000	2.1	12,000	9.1	13,000	11.0	8,500	5.1	120.31
通期	370,000	8.3	36,000	17.1	37,000	15.0	24,500	9.9	346.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.7「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	70,833,201株	29年3月期	70,134,971株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	18,712株	29年3月期	18,941株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	70,485,937株	29年3月期1Q	65,663,234株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 平成30年3月期の個別業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	140,000	3.8	11,000	15.9	12,000	16.3	8,000	10.7	113.21
通期	340,000	9.7	33,000	19.7	34,500	16.5	23,000	10.5	325.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. 参考	7
個別業績の概要	7
4. 補足情報	8
(1) 連結業績の部門別・得意先別内訳	8
(2) 個別業績の部門別・得意先別内訳	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国の経済は、輸出・生産の改善による企業業績の拡大や、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しなど、景気は緩やかながら回復基調で推移いたしました。

建設業界におきましては、民間設備投資の底堅い動きと共に、オリンピック関連工事や都市再開発事業の進展及び、経済対策に伴う公共投資の増加を背景に、建設需要は引き続き堅調に推移いたしました。

このような経営環境のもと当社グループは、中期経営計画の折り返しとなる本年度を、これまでの勢いを更に高める「上昇」の年と位置付け、本計画に定めた営業力・技術力・現場力及び成長力の一層の強化に全力を傾注いたしました。

また、受注確率の向上、アフターサービスの強化・徹底、最低原価づくりを意識した資材購買システムの再構築及び、働き方改革など、年度方針に掲げた具体的取り組みを進めてまいりました。

このような事業運営の結果、当第1四半期の業績は下記の通り、工事受注高及び利益面で前年同期実績を下回りましたが、概ね順調に推移いたしました。

〔連結業績〕

工事受注高	1,099億88百万円	(前年同期実績	1,264億15百万円)
売上高	656億49百万円	(前年同期実績	640億40百万円)
営業利益	45億27百万円	(前年同期実績	49億8百万円)
経常利益	50億20百万円	(前年同期実績	51億51百万円)
親会社株主に帰属する四半期純利益	33億46百万円	(前年同期実績	36億82百万円)

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、手持工事の進捗に伴い、未成工事支出金が増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金等の売掛債権の回収などから、前連結会計年度末に比べ、204億76百万円減少し、2,800億2百万円となりました。

負債合計は、仕入債務の決済による支払手形・工事未払金等の減少などから、前連結会計年度末に比べ、236億33百万円減少し、1,353億42百万円となりました。

純資産合計は、配当金の支払による減少などがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加並びに新株予約権の権利行使に伴う新株の発行による資本金及び資本剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ、31億57百万円増加し、1,446億60百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しにつきましては、米国大統領の政策への期待感の低下、欧州の政治経済の不透明感の高まり及び、北朝鮮情勢など、世界経済への影響が懸念されますが、国内においては企業業績の拡大や個人消費の改善などにより、景気は緩やかな回復が続くものと予測されます。

このような経済情勢を背景に、建設需要は、民間設備投資・公共投資共に引き続き底堅い動きを続けるものと期待される一方、建設業界におきましては、建設労働者の不足や工事材料費・労務費の上昇など、課題の拡大が予測されます。

この環境認識のもと当社グループは、中期経営計画の具現化はもとより、将来の成長・発展に向けた諸施策に総力を結集すると共に、受注拡大・収益力の向上・施工戦力の充実・強化を始めとする具体的取り組みに、全力を傾注してまいります。

特に、本年度より新たに設置した新会社Q-m a s tを軸に、資材コストの大幅削減を目指してまいります。

なお、当第1四半期に前年同期実績を下回った工事受注高及び利益面は、今後十分に回復できる見通しにあり、業績予想につきましては、前回発表値(平成29年4月28日)を確保する見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	30,314	24,032
受取手形・完成工事未収入金等	106,204	85,310
有価証券	1	40
未成工事支出金	6,679	11,105
商品	687	1,406
材料貯蔵品	4,108	4,342
繰延税金資産	3,415	3,568
その他	6,766	5,496
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	158,172	135,296
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	31,751	32,267
土地	28,385	28,404
その他(純額)	25,625	24,993
有形固定資産合計	85,762	85,665
無形固定資産		
のれん	1,175	1,098
その他	975	924
無形固定資産合計	2,150	2,023
投資その他の資産		
投資有価証券	46,847	49,443
長期貸付金	576	641
繰延税金資産	3,401	3,415
その他	4,460	4,394
貸倒引当金	△892	△878
投資その他の資産合計	54,393	57,017
固定資産合計	142,306	144,706
資産合計	300,478	280,002

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	80,636	64,285
短期借入金	21,387	18,877
未払法人税等	6,083	1,882
未成工事受入金	9,611	13,600
工事損失引当金	207	172
その他	6,818	9,541
流動負債合計	124,745	108,360
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,860	511
長期借入金	9,707	4,138
リース債務	2,322	2,395
役員退職慰労引当金	233	201
退職給付に係る負債	17,471	16,660
その他	2,634	3,074
固定負債合計	34,230	26,981
負債合計	158,975	135,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,632	12,307
資本剰余金	11,907	12,605
利益剰余金	119,700	120,699
自己株式	△8	△7
株主資本合計	143,232	145,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,097	4,056
繰延ヘッジ損益	△185	△219
為替換算調整勘定	167	134
退職給付に係る調整累計額	△6,430	△6,458
その他の包括利益累計額合計	△3,351	△2,486
非支配株主持分	1,622	1,542
純資産合計	141,503	144,660
負債純資産合計	300,478	280,002

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高		
完成工事高	61,204	62,685
その他の事業売上高	2,835	2,964
売上高合計	64,040	65,649
売上原価		
完成工事原価	51,641	53,370
その他の事業売上原価	2,195	2,016
売上原価合計	53,836	55,387
売上総利益		
完成工事総利益	9,563	9,314
その他の事業総利益	639	947
売上総利益合計	10,203	10,262
販売費及び一般管理費		
営業利益	5,295	5,735
営業外収益		
受取利息	17	24
受取配当金	233	264
持分法による投資利益	122	125
受取賃貸料	91	85
その他	93	143
営業外収益合計	558	643
営業外費用		
支払利息	89	97
その他	225	52
営業外費用合計	314	150
経常利益	5,151	5,020
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	16	81
特別利益合計	18	84
特別損失		
固定資産処分損	12	96
投資有価証券評価損	6	0
特別損失合計	18	97
税金等調整前四半期純利益	5,151	5,006
法人税等	1,445	1,708
四半期純利益	3,705	3,298
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	22	△48
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,682	3,346

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	3,705	3,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△773	954
繰延ヘッジ損益	△455	24
為替換算調整勘定	△102	△34
退職給付に係る調整額	216	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	△48	△55
その他の包括利益合計	△1,163	861
四半期包括利益	2,542	4,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,545	4,212
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	△51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 参考

個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

平成30年3月期第1四半期の個別業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	60,381	3.9	4,462	5.7	5,748	27.7	4,098	24.0
29年3月期第1四半期	58,116	5.6	4,221	6.3	4,503	△2.8	3,304	5.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	58.13	57.59
29年3月期第1四半期	50.31	46.45

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	255,708	129,707	50.7
29年3月期	274,800	126,089	45.9

(注) 参考として開示した個別業績の概要は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

4. 補足情報

(1) 連結業績の部門別・得意先別内訳

①売上高

期別 部門別	前年同四半期連結累計期間 (28.4~28.6)		当四半期連結累計期間 (29.4~29.6)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
配電線工事	10,832	16.9	11,121	17.0	288	2.7
屋内線工事	34,628	54.1	30,746	46.8	△3,881	△11.2
空調管工事	15,744	24.6	20,817	31.7	5,073	32.2
設備工事業計	61,204	95.6	62,685	95.5	1,480	2.4
その他の事業	2,835	4.4	2,964	4.5	129	4.6
合計	64,040	100	65,649	100	1,609	2.5

②工事受注高

期別 部門別	前年同四半期連結累計期間 (28.4~28.6)		当四半期連結累計期間 (29.4~29.6)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
配電線工事	11,319	9.0	11,393	10.4	74	0.7
屋内線工事	77,791	61.5	60,855	55.3	△16,935	△21.8
空調管工事	37,304	29.5	37,739	34.3	434	1.2
合計	126,415	100	109,988	100	△16,427	△13.0

③期末手持工事高

期別 部門別	前年同四半期連結累計期間末 (28.6)		当四半期連結累計期間末 (29.6)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
配電線工事	1,288	0.4	1,418	0.4	130	10.1
屋内線工事	205,698	69.8	237,081	72.7	31,382	15.3
空調管工事	87,605	29.8	87,536	26.9	△69	△0.1
合計	294,592	100	326,035	100	31,443	10.7

④得意先別工事売上高

期別 得意先	前年同四半期連結累計期間 (28.4~28.6)		当四半期連結累計期間 (29.4~29.6)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
九州電力㈱	10,941	17.9	11,083	17.7	141	1.3
一般得意先	50,263	82.1	51,602	82.3	1,338	2.7
合計	61,204	100	62,685	100	1,480	2.4

⑤得意先別工事受注高

期別 得意先	前年同四半期連結累計期間 (28.4~28.6)		当四半期連結累計期間 (29.4~29.6)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
九州電力㈱	11,476	9.1	11,600	10.5	123	1.1
一般得意先	114,939	90.9	98,388	89.5	△16,551	△14.4
合計	126,415	100	109,988	100	△16,427	△13.0

⑥通期(30年3月期)の売上高・工事受注高の予想

部門別	売上高(百万円)	工事受注高(百万円)
配電線工事	48,000	47,000
屋内線工事	207,000	233,000
空調管工事	100,000	100,000
設備工事業計	355,000	380,000
その他の事業	15,000	
合計	370,000	

(注) 従来、「配電線工事」に含めていた通信関連工事を当四半期連結累計期間より、「屋内線工事」に含んでおります。その為、前年同四半期連結累計期間「配電線工事」に含めていた通信関連工事を「屋内線工事」に組替えて表示しております。

(2) 個別業績の部門別・得意先別内訳

①売上高

部門別	期別 前年同四半期(28.4~28.6)		当四半期(29.4~29.6)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
配電線工事	10,600	18.2	10,874	18.0	274	2.6
屋内線工事	33,135	57.0	29,320	48.6	△3,815	△11.5
空調管工事	14,035	24.2	19,803	32.8	5,767	41.1
計	57,772	99.4	59,998	99.4	2,225	3.9
兼業事業売上高	344	0.6	383	0.6	38	11.1
合計	58,116	100	60,381	100	2,264	3.9

②工事受注高

部門別	期別 前年同四半期(28.4~28.6)		当四半期(29.4~29.6)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
配電線工事	11,023	9.0	11,034	10.6	10	0.1
屋内線工事	77,028	62.6	58,042	55.6	△18,985	△24.6
空調管工事	35,002	28.4	35,202	33.8	199	0.6
合計	123,054	100	104,279	100	△18,775	△15.3

③期末手持工事高

部門別	期別 前年同四半期末(28.6)		当四半期末(29.6)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
配電線工事	759	0.3	1,167	0.4	407	53.7
屋内線工事	208,902	72.7	230,890	74.0	21,988	10.5
空調管工事	77,665	27.0	79,805	25.6	2,140	2.8
合計	287,326	100	311,863	100	24,537	8.5

④得意先別完成工事高

得意先	期別 前年同四半期(28.4~28.6)		当四半期(29.4~29.6)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
九州電力㈱	10,753	18.6	10,909	18.2	155	1.4
一般得意先	47,018	81.4	49,089	81.8	2,070	4.4
合計	57,772	100	59,998	100	2,225	3.9

⑤得意先別工事受注高

得意先	期別 前年同四半期(28.4~28.6)		当四半期(29.4~29.6)		比較増減	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減(%)
九州電力㈱	11,270	9.2	11,336	10.9	65	0.6
一般得意先	111,784	90.8	92,943	89.1	△18,840	△16.9
合計	123,054	100	104,279	100	△18,775	△15.3

⑥通期(30年3月期)の売上高・工事受注高の予想

部門別	売上高(百万円)	工事受注高(百万円)
配電線工事	46,000	46,000
屋内線工事	202,500	219,000
空調管工事	90,000	95,000
計	338,500	360,000
兼業事業売上高	1,500	
合計	340,000	

(注) 従来、「配電線工事」に含めていた通信関連工事を当四半期より、「屋内線工事」に含んでおります。その為、前年同四半期「配電線工事」に含めていた通信関連工事を「屋内線工事」に組替えて表示しております。